



【写真・文】大森 竹之助さん  
(久慈市在住・74歳)



ハマナシ (ばら科)

六月普代村の海岸にハマナシは今が盛りと、紅色の香り高い、美しい花を咲かせる。でも枝に密生したトゲには注意が必要である。植えられたものもあるが、自生のものも少なくない。あたりは何処までも濃い緑で、潮風がゆきかう音、荒々しくも神秘的な崖、そしてやさしい砂浜に、群落をつくっているこの花は実に見事である。

と増え育っていることは、繁殖力の旺盛な証拠といえよう。赤く熟した実は、酸味があつておいしく、子どものママゴト遊びの材料になったり、またお盆を迎え、仏前に供える風習は、青森県あたりまで広く行われたと聞く。ハマナスはハマナシのなまっただ言い方といわれて、茄子とは関係がない。ハマナシの花は香水の原料、花弁は下痢どめ、根は染料として利用されてきた。

◇幼児向け

『そらめくんのベッド』

なかや みわ

そらめくんの宝物は、雲のようにふわふわで、綿のように



やわらかいベッド。ある日、そのベッドが突然なくなつてしまったから、さあ、大変！

福音館書店

◇小・中学生向け

『ダレン・シャン― 奇怪なサーカス―』

サーカスを見に行つた夜からダレンは数奇な運命を背負ってしまう。



親友の命を救うためにダレンが正体不明のパンパイアと取り引きしたことは…

小学館

◇一般向け

『子どもが見えない』

NHKスペシャル「子どもが見えない」取材班 義家弘介・金森俊朗

誰にもいえずに、ずっと心の奥底にしまい込んでいた悲しみ。子どもの「心の声」に耳を傾け、いかに子どもと関わるべきかを真正面から問いかける。

ポプラ社



◇一般向け

『幸福な食卓』

瀬尾 まいこ

父さんが自殺を失敗したときも、母さんが家を出たときも、朝は普通にやってきた。そして、その悲しい出来事のアとも。切ないのに、心があたたかくなるストーリー！。

講談社

